

Game Report

開催場所：九州国際大学 平野記念館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 女子 1 部

試合期日：2016 年 10 月 1 日(土)

試合時間：11:40～

主審：宮城 由紀

副審：佐藤 安里紗

東海大学九州	○ 7 1	23	—1st—	18	● 6 7	福岡大学
		21	—2nd—	12		
		10	—3rd—	14		
		17	—4th—	23		

第 1 ピリオド

序盤から福岡大は #51 中野、#89 福嶋のインサイドで得点し、上々の立ち上がりを見せる。この試合まで 1 敗と強さを見せてきた東海大はハーフコートゾーンプレスで守りを固める。東海大は #10 井上を中心とし、#7 竹原のシュート、#14 小澤の 3 P シュートで得点を重ねていく。中盤、福岡大は #41 野口が積極的なリバウンドで相手に存在感を見せつける。東海大はベンチメンバーの #91 眞野が 3 P シュートを決め、チームを勢いづける。点の入れ合いとなった第 1 ピリオドは、23-18 の東海大リードで終了。

第 2 ピリオド

開始早々、福岡大は #39 野口のバスケットカウントで流れを掴む。対する東海大は、メンバーを替えながらオフェンスをコントロールしていく。中盤、福岡大は #51 中野のシュート、#26 半田のファーストブレイクで同点に追いつく。しかし、東海大は #10 井上のバスケットカウントですぐに点差を広げる。終盤に入り、ミスが目立ち始めた福岡大は、残り 2:34、タイムアウトを請求する。しかし、東海大 #8 金子、#77 赤坂の 3 P シュートで逆に点を与えてしまい、44-30、東海大リードで前半を終える。

第 3 ピリオド

東海大は #14 小澤の 3 P シュート、#22 江口のシュートで福岡大を突き放していく。東海大はメンバーを替えると同時にミスが出始める。その隙を突きたい福岡大は、#10 賀谷が果敢にドライブを仕掛け、ファウルをもらう。中盤に入り、点が入らない両チーム。そんな中、福岡大は #10 賀谷、#6 大関の 3 P シュートが決まる。対する東海大も #14 小澤の 3 P シュート、#10 井上のシュートで粘り強いオフェンスを見せる。終了間際、福岡大は #10 賀谷のゴール下で 10 点差に追いつき、54-44、東海大リードで第 3 ピリオドを終える。

第 4 ピリオド

開始早々、福岡大 #96 田仲がスティールし、自ら得点すると、福岡大に流れが傾き始める。しかし、東海大も #6 山下がすぐに得点する。互いに一進一退の攻防が続く中、福岡大は #6 大関、#28 藤井らが 3 P シュートを 3 本連続で決め、遂に同点に追いつく。苦しい展開になった東海大は #10 井上の 1 対 1 で確実に得点し、落ち着いた試合運びを見せる。試合終盤、オフェンスで時間を使う東海大に対して福岡大はファウルゲームを仕掛ける。終了間際、福岡大 #28 藤井が 3 P シュート決めるも一歩及ばず、71-67 で東海大が勝利を挙げた。